

北九州大授業料値上げ

北九州市議会
文教委員会

12/10 毎日「撤回」を突っぱねる

北九州市議会の文教建設委員会(中野利幸委員長、十一人)は九日開き、市営吉田団地(小倉南区上吉田)で見つかった石綿(アスベスト)問題や北九州大学の授業料値上げなどを取り上げられた。

アスベスト問題では、野依勇武委員(共産)が「居住者の不安や(行政への)不信感を払拭するためにも、居住者から事前や現状を聞くべきだ」と追及。若山和生・市建設局長は「住民の不安感も十分理解できるが、冷静な対処も必要、市が実施した市内の石綿遊粉じん濃度測定の結果をみて、対処することと否を併した。

北九州大授業料値上げについては、松井克彦委員(社会)が「値上げを国立大学に準じるといふなら、中身の改善も必要だ」と指摘、野依委員は「(値上げ案を)凍結、撤回せよ」と追った。これに対し、白石剛・同大事務局長は「値上げによって北九州大の授業料は他の公立大と比較しても決して高いものではない」と突っぱねた。